

大学名 福井大学

第74号 特集タイトル  
「未来社会に向けた教員養成」

表題 「嶺南地域教育プログラム」から広げる地域共創～学び成長する教師を支えるコミュニティへ～

### 背景・目的

- 福井大学教育学部では、福井県嶺南全6市町からの強い要望を背景に嶺南地域の教員不足解決のため、嶺南地域枠入試を令和4年度入試から導入、学部・福井県教育委員会・嶺南市町教育委員会の連携協定のもと「嶺南地域教育プログラム」を令和4年度からスタート。
- 嶺南地域の教育の中核を担う優れた教員の安定した計画養成を図るとともに、学部・教職大学院・大学・教育委員会・学校・現職教員等とスクラムを組みプログラム共創に取り組むことを通じて、教職を目指す学生や若手教員が安心して共に成長できる教員養成コミュニティの醸成をめざす。

### 取組内容

#### 学校推薦型選抜Ⅰ（高大接続型・嶺南地域枠入試）

嶺南地域の教員となることを強く希望する者（出身地・居住地不問）を対象とする。募集人員10名。合格者対象に、12月～3月に入学前教育（協働探究・成果発表・課題図書に基づく小論文等）を実施。

#### 嶺南地域教育プログラム（4年間・5単位）

嶺南地域の次代を担う教員をめざす学生を対象とした4年間継続プログラム。嶺南地域枠入試入学生以外も履修可（計20名まで）。嶺南市町教育委員会・嶺南の学校・大学教員とのパートナーシップのもと、地域を知るための講義・演習・地域体験活動・教育実習等を行う。学びの成果を学生と嶺南市町教育委員会や現職教員とが共有できる「学習共創eポートフォリオ」を開発、令和7年度稼働予定。プログラム修了見込証明書を発行し、教員採用試験で活用できる仕組みを県教育委員会と協議。

1年次後期：「嶺南地域学A」【1単位】  
探究力 | 嶺南地域の現状と教育の特徴を知る

2年次通年：「嶺南地域学B」【1単位】  
革新力 | 具体的な授業づくりに向けた基礎探究

3年次通年：「地域実践演習」【1単位】  
共創力 | 嶺南の教育現場を知り省察する

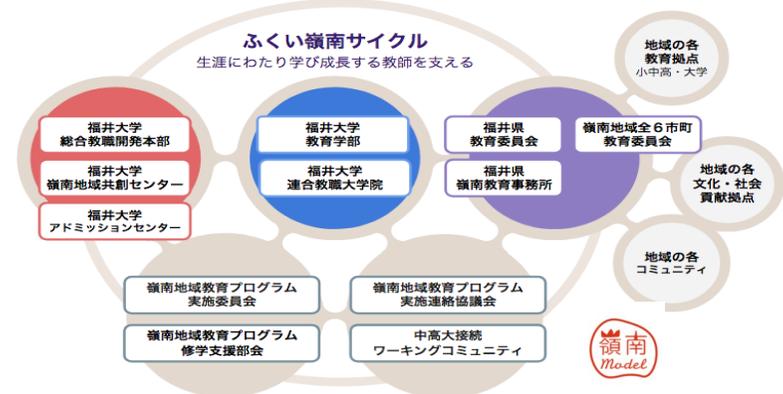
4年次前期：「教育実習（2w）」【2単位】  
探究力・革新力・共創力で臨む教育実践

#### 教育委員会と連携した中高大接続事業

嶺南地域教育プログラムの企画・実施を通して培ったパートナーシップをもとに、嶺南地域教育プログラム・オープンキャンパスや、県内の中学生・高校生・保護者を対象とした教員の魅力発信事業等を共同企画。

### 協働体制

- 学部・県教育委員会・嶺南全6市町教育委員会間の連携協定を令和3年5月に締結し、「嶺南地域教育プログラム実施連携協議会」を設置。実務は学部「嶺南地域教育プログラム実施委員会」が担当。事業展開は全学組織とも連携。
- 学部教員と、連合教職大学院の実務家教員・コーディネーター、総合教職開発本部の教職キャリア支援担当特命教員、嶺南地域教育プログラム担当特命教員等とのフレキシブルなチーム協働により、プログラム履修生の教員就職を見据えた修学支援、教育学部進学希望者の掘り起こしに向けた中高大接続事業を推進。



### 期待できる効果・成果

- 地方教員養成学部の強みを活かし県教育委員会や地域の学校と共に教員養成に取り組む、本学連合教職大学院の学校拠点方式の学びと繋ぐことで、教員養成と教師教育・現職教員研修の双方向から学習観・教育観の転換を加速。
- 学生・院生として共創コミュニティのなかで学ぶことで、卒業後・修了後にスムーズに教職へ移行するとともに、コミュニティを牽引する役割を果たす。
- ミニマムな教育プログラムを軸に地域共創の教員養成のサイクルを広げることを通して、地域ニーズに沿った質の高い教員養成と教員養成を支え育む地域共創コミュニティの醸成を共に実現する「嶺南モデル」を発信。

福井大学教育学部嶺南地域教育プログラム <http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/reinan>